

官民共創コミュニティの理念を活かした 行政手法の導入

R5.11.2 群馬県知事戦略部戦略企画課未来創生室

始まりは新・群馬県総合計画（ビジョン）



地域の持続可能性の鍵は官民共創

◆ 社会背景

- 人口減少や高齢化が加速
- 地域社会でも、これまで扶助機能を担ってきた地縁組織や家族のつながりが弱体化
- 地方では民間事業者が撤退傾向
- 自治体職員は減少。自治体財政も逼迫。
- 一方で、住民ニーズや社会課題は多様化

→ **持続可能な形で公的サービスを提供し続ける鍵は「官民共創」。**
官民の力を合わせることでイノベーションが生まれる。

⇒ **「官民共創コミュニティの育成」**はビジョンの7つある柱のひとつに。

群馬県で実施している官民共創の取組例①

✓ 湯けむりフォーラム

- ・時代の最先端をゆく独自のモデルや新たな価値を生み出す（リアルカンファレンス）
- ・熱量あるコンテンツの配信（通年コンテンツ）



✓ 政策実現のための コミュニティプラットフォーム 「PoliPoli」

- ・SNS等を活用して、積極的に若年層の意見や新しい視点を取り入れる。



✓ 官民共創コミュニティ育成事業

- ・未来共創ワークショップ
- ・始動人育成クリエイティブLAB



群馬県で実施している官民共創の取組例②

- ✓ 県庁32/31階「NETSUGEN」、「tsulunოს」、「GINGHAM」
 - ・官と民の交流の場となり、官民共創コミュニティの中核となることを目指している。



NETSUGENでのセミナー



ワークスペース



tsulunოსスタジオ



ソーシャルマルシェ&キッチン「ギンガム」

未来共創ワークショップ

官民共創コミュニティの芽を育てるため
2021年から「未来共創ワークショップ」を始動！

「未来共創ワークショップ」で地域の人たちと未来を共創する

【実施エリア】

(2021年) 甘楽富岡、利根沼田、桐生みどり

(2022年) 北群馬渋川、多野藤岡、吾妻

(2023年) 前橋・佐波伊勢崎、高崎安中、
太田・邑楽館林

【参加者】

公募住民・法人、関係団体、県・市町村職員など
3年で約400名

【内容】

第1回：SDGsカードゲーム

第2回：課題の構造図

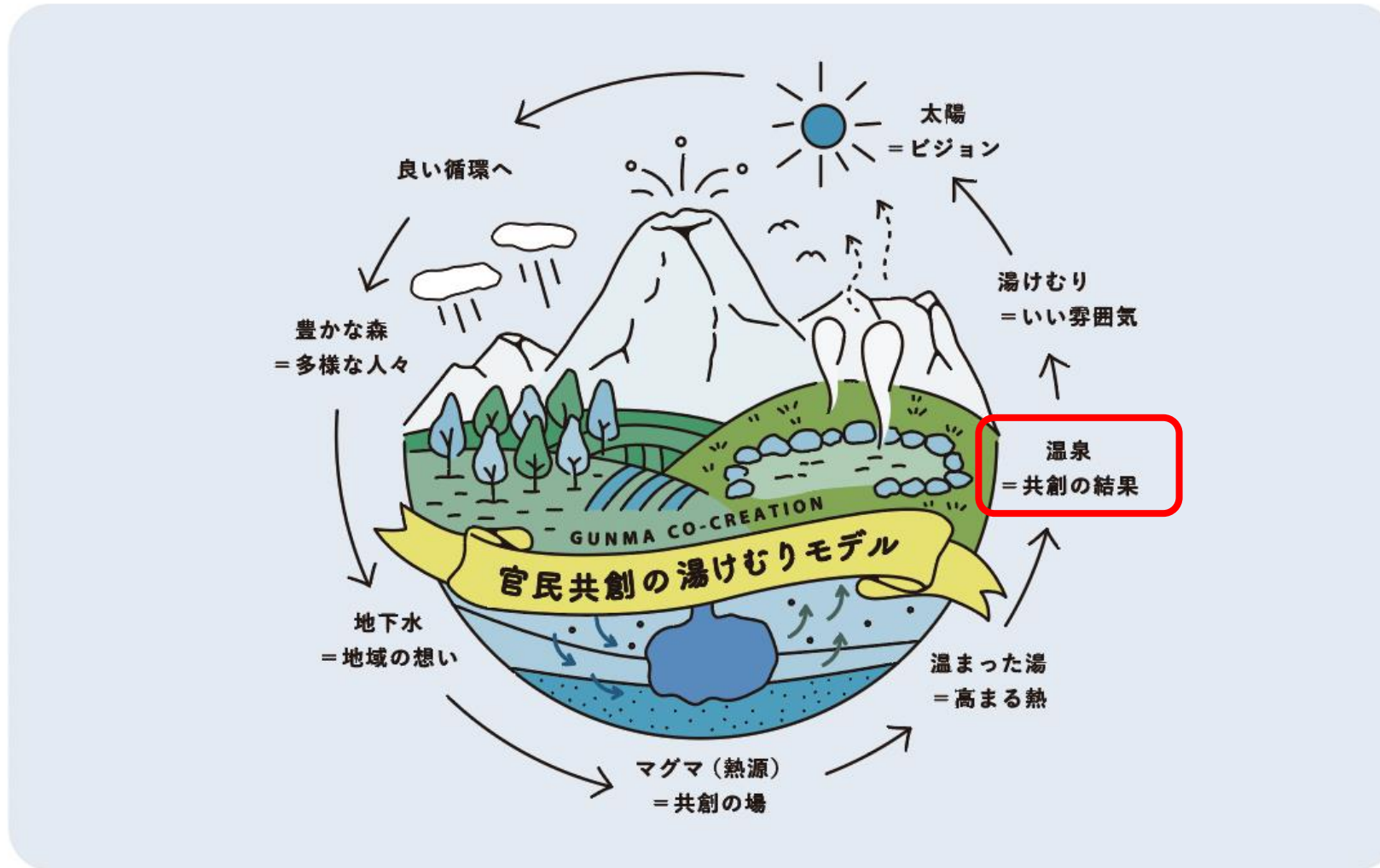
第3回：アイデア出し



「未来共創ワークショップ」の様子



官民共創の「湯けむりモデル」



群馬県の官民共創コミュニティづくりを、
「温泉発生の仕組み」になぞらえて表現

手をつなぐ未来

ひろがりの湯

北群馬
渋川



【効能】 今まで繋がっていなかった人や物がつながることによってアイデアが浮かび、未来の可能性が広がります。

【特徴】 入浴する人（手を繋いだ）の数によって温泉の広さが決まります。

【入浴方法】 手を繋ぎながら入浴してください。もし一人で入ってきた人がいたら、手を差し伸べてください。

【対象】 つながりを増やしたい人や新たなことを始めたいと思っている人におすすめてです。

【成分】 このお湯の成分となる「未来の種」の一覧です。タイトルの下の括弧に、提案自治体名と関連テーマを記載しています。

『SNS活用（吉岡町の親父たち）』（吉岡町）男性の家事育児）
毎日SNS上でパパたちが情報交換できるプラットフォームをつくる。家事育児を楽しんでいる人を取り上げたり、家事交換シェアリングが行える。

『子供のやりたい応援隊！』（県）子供の居場所）
子どもサミットを通じて子供食堂を会場またはオンライン会議システムとハイブリットして子供サミットで出たアイデアをどう実現するかを考える。ポランティア団体、行政職員、子どもサミット代表者など関係者が集り、繋がる広場
『アキヤデアキナイ』（渋川市）空き家）
二〇二三年四月、旧渋川市域で、官民連携し、空き家問題に取り組む意志のある人が空き家活用のためのスタートアップを立ち上げる。空き家情報の収集、活用後の商業展開提案、活用人材のマッチングを行う。

『広げようグループの輪』（榛東村）創造の森キャンプ場）
榛東村をPRする『Ecozone』グループをつくり、地域のイベント情報共有や困りごとの解決、意見交換などを行う集約的場をつくる。まずは百人まで広げてみる。

ワークショップで生まれたアイデア

つながりを譲す未来
つどいの湯



「施設」 山形県五里町湯野宮、つながりがせられる
つどいの湯、地域の自然と歴史を大切にする
「人件」 地域の人材を活用し、運営がスムーズに
「設備」 入浴のあついや湯温、水質がおいしい出
てきてほしい。スパと心を癒されることに
なりたい。また、お風呂の設備も充実させたい。
「入浴」 湯温や湯質、お風呂の設備も充実させたい。
「対応」 新しく来た人や、地域の人とつながりかたい人
また、言葉が通じない人など、地域の人
にお応えする。

「運営」 地域の人材を活用し、運営がスムーズに
「設備」 入浴のあついや湯温、水質がおいしい出
てきてほしい。また、お風呂の設備も充実させたい。
「入浴」 湯温や湯質、お風呂の設備も充実させたい。
「対応」 新しく来た人や、地域の人とつながりかたい人
また、言葉が通じない人など、地域の人
にお応えする。



『みんなの未来を共に創る尾瀬の郷倶楽部』 (片品村) 村づ
くり)
官民共創で解決すべき新たな課題を感じたときに、未来共創
プラットフォームで、民と官が「子ども・若者から大人まで」
共に共創を学び、実践する。官民協働推進アカデミーや未来共
創のプラットフォームをつくり、運用する。多様な主体による
オープンなプレゼン大会も。

ワークショップから動き始めた取組例①

■おぜのさと倶楽部

未来共創ワークショップをきっかけに生まれた、片品村の未来について考えるコミュニティ。
R4.12月には、地域住民たちを交えてロゴづくりのワークショップを開催。



ワークショップから動き始めた取組例②

■ 17色のひもかわプロジェクト

桐生みどりエリアの未来共創ワークショップをきっかけに生まれたもの。
桐生市の食文化である「ひもかわうどん」をSDGsの17の目標の色でカラフルに彩ることで、
みなさんにSDGsに興味を持ってもらおうというイベント及びプロトタイプの構築



ワークショップから動き始めた取組例③

- ✓ みんなでつなぐ私のSDGs
- ✓ Kiryu×SDGs 取組集
- ✓ 妙義ふるさとマルシェ
- ✓ 小屋&古民家リノベーション+コーヒーの入れ方ワークショップ
- ✓ meZoom (私と水)
- ✓ 「古民家カベ塗り体験！」ワークショップ
- ✓ 富岡クレープ

ご意見をいただきたい点

①官民共創コミュニティへの多様な人の参画

- ・県や市町村などの行政職員や地域住民などの他、企業など多様な人の官民共創コミュニティへの参画を広げる方法について、ご意見をいただきたい。

②ワークショップで創出されたアイデアの実装

- ・地域課題解決のためのワークショップの成果として生まれたアイデアの実装（実現）について、地域活動における中心的人物（キーマン）の有無や資金の不足などで実装までは大きな壁がある場合が多いが、より多くのアイデアを実装させる方法について、ご意見をいただきたい。